

社会科（地理的分野）学習指導案

1 単元名 アフリカ州

2 単元設定の理由

（１）生徒観

（２）教材観

本単元は、中学校指導要領、地理分野の内容（２）「世界の様々な地域」のアフリカ州についてである。中項目「イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること」の「（ア）世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。」をねらいとしている。

この単元では、アフリカ州の自然環境や歴史、文化、産業の特色について、雨温図や分布図、写真などの資料を見て、基本的な知識の習得、それらを活用してアフリカ州の地域的特色や課題を理解することができる。地域で見られる地球的課題である「自然環境」「教育」「食料問題」「紛争」「モノカルチャー経済」などを取り上げ、これらの課題と、アフリカから資源や農産物を大量に輸入している日本のような先進国と、私たちの生活とが密接に結びついていることに気がつき、アフリカの人々の暮らしの様子や、抱える課題の背景や根本的な原因について考えさせたい。

本単元では、「アフリカの人々の暮らしとその変化」を主題とし、「アフリカ州はなぜ貧困問題を抱えているのか」という単元を貫く問いを設定して探究させることで、アフリカ州の地域的特色を捉えさせたい。

（３）指導観

本単元が多くの子供にとって馴染みが薄く、アフリカ州に対する知識が少ないからこそ、主体的な学びにつなげるために、子供の興味・関心を高める資料を提示し、学ぶ意欲をもたせたい。また、グループ学習を取り入れることで、生徒同士が目的意識を共有し、他者の意見を聞くことで自分の考えとつながりをもたせるなどして、思考を深めることができると思う。こうして深めたグループの考えをもとに、学級全体で課題を追究させたい。自分の考えをまとめるにあたり、プリントに書くことやタブレット端末を用いて文章で書く、思考ツールでまとめるなど、様々な方法を提示していきたい。最後に、グループや全体で考えたり、話し合ったりしたことをもとに、追究課題についてもう一度個人で考えさせ、自分の考えを自分の言葉で表現させたい。そして、日本や自分がアフリカ州の課題とどう向き合い、持続可能な社会づくりと関わっていけるのかという社会形成への参画につなげていきたい。

3 単元の目標

- ・アフリカ州に「貧困」問題を抱えている国が多いことを理解させ、アフリカ州の自然環境や歴史、産業の特徴などを複数の資料から読み取らせる。

【知識及び技能】

- ・アフリカ州に「貧困」問題を抱えている国が多い理由を、自然環境、歴史、経済的支援の視点など多面的・多角的に考察させ、表現させる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、課題の解決を主体的に追究し、捉えさせる。

【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アフリカ州に暮らす人々の生活をもとに、地域的特色を大観するとともに、課題となっている「貧困」問題に注目し、その要因や影響について理解している。	アフリカ州の地域的特色に着目して理解した「貧困」につながる要因とその解決すべき課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

5 指導と評価の計画（全4時間）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
第一次	【ねらい】 アフリカ州の自然環境の特色を理解させる。				
本時 1時間	◇ アフリカ州の地形的、気候的特色を地図や雨温図などから読み取り、乾燥帯の地域にサハラ砂漠などが広がっている点などを理解する。 ◇ アフリカ州の自然環境から、貧困の原因となる要素を多面的に考察する。	●			●アフリカ州の地形や気候の特色を理解している。 （ワークシート） ○アフリカ州の人々の生活、特に貧困の要因を多面的に考察している。 （ワークシート）
第二次	【ねらい】 アフリカ州の歴史や文化の特色について、諸資料から読み取り、理解させる。				
1時間	◇ 国境線や言語、文化を示す諸資料などからアフリカ州の特色を読み取り、ヨーロッパ州の国々による植民地支配の影響が強いことを理解する。 ◇ 植民地時代に引かれた国境線などの資料から読み取り、アフリカ州の多くの国々で貧困に苦しむ人が多くいる原因について多面的・多角的に考察する。	●	○		●アフリカ州の歴史を背景とした現在の文化やアフリカ州の諸課題を資料から読み取り、理解している。 （ワークシート） ○アフリカ州の貧困の要因を歴史的背景を中心に、多面的・多角的に考察している。 （ワークシート）

第三次	<div>【ねらい】 アフリカ州の国々の産業の特色について、歴史的背景をふまえて、理解させる。</div>				
1時間	<p>◇ アフリカ州の輸出品を示す資料などから、アフリカ州では第一次産品（農産物や鉱産資源）を中心としたモノカルチャー経済となっていることを理解する。</p> <p>◇ カカオや銅などの国際価格の変動が激しいことから、モノカルチャー経済の問題点について多角的に考察し、貧困の要因を考察する。</p>	●			<p>● アフリカ州の国々の産業の特色について理解し、モノカルチャー経済になっていることを理解している。（ワークシート）</p> <p>○ アフリカ州の貧困の原因について、モノカルチャー経済の実態から、多角的に考察している。（ワークシート）</p>
第四次	<div>【ねらい】 アフリカ州の貧困問題について、地域的特色をふまえて多面的・多角的に考察し、まとめさせる。</div>				
1時間	<p>◇ アフリカ州の貧困問題の原因を地域的特色と関連づけて整理し、数ある課題の中から何を優先して解決していくべきかを、多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。</p> <p>◇ アフリカ州に対す日本の ODA や NGO による支援、アフリカ州の可能性などを紹介し、今後もアフリカ州に関心をもち、主体的に追究する。</p>		●		<p>● アフリカ州の貧困問題について、地域的特色をふまえて多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。（ワークシート・観察）</p> <p>○ よりよいアフリカ州に向けて主体的に追究しようとしている。（ワークシート・観察）</p>

6 本時の展開

(1) 目標

アフリカ州の地形や気候などの自然環境の特色を諸資料から読み取り、「貧困」問題と関連付けて理解することができる。

(2) 展開

時間 (分)	学 習 活 動	指導の手立てと評価
10	1 資料を見て、アフリカ州の課題を読み取る。 2 学習課題を把握する。	○アフリカ州全体の貧困率が高いことについて、資料から読み取らせ、「貧困」が課題であることを気づかせる。
	学習課題：アフリカ州の自然環境には、どのような特色があるのだろうか。	
15	3 アフリカ州の自然環境について、地図帳や資料を見て理解する。	○調べた自然環境の特色について、動画や写真を提示し、イメージを定着させる。
10	4 アフリカ州の課題である「貧困」の要因について、各班で考える。	○思考ツール（フィッシュボーン図）をタブレットシートに用いて、まとめたシートを他者の意見として参考にさせる。
5	5 班ごとに発表する。	
10	6 アフリカ州の課題である「貧困」の要因について、自然環境に着目してまとめる。	○タブレットを用いて資料の見方を説明し、自然環境の特色をふまえてまとめさせる ・アフリカ州の自然環境の特色を、「貧困」問題と関連付けて理解することができたか。（ワークシート）

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況の例	アフリカ州の貧困の要因として、アフリカの国土の大部分は熱帯・乾燥帯で、サハラ砂漠が広がっており、サヘルでは砂漠化も進んでいるため、限られた種類の作物しか育てることができず、食料の確保が難しいから。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	アフリカ州の自然環境の特色を理解できるように、タブレットを用いて資料の見方を指導し、机間巡視を行いながらワークシートのまとめ方を指導する。